

# 令和4年度事務事業評価について

## (1) 趣 旨

第6次羽生市総合振興計画前期基本計画に係る「施策評価」のフォローアップとして、「事務事業評価」を実施しました。施策を実現するための手段である事務事業を見直すことで、次年度以降の施策評価全体の底上げを図ります。

## (2) 対 象

施策評価シート「4 前期基本計画（平成30年度～令和4年度）に位置付けている目標指標」の評価結果（S～D）に基づき、8事務事業を選定しました。

## (3) 基準日

令和5年3月31日

## (4) 実施概要

「必要性」「有効性」「効率性」「公平性」の4つの観点から、事務事業を総合的に評価した上で、事業の今後の方針を整理しました。

- ① 一次評価・・・担当課による評価
- ② 二次評価・・・担当部長による評価
- ③ 企画課によるヒアリング（令和5年7月19日実施）
- ④ 三次評価・・・行政改革推進本部による評価
- ⑤ 外部評価・・・行政改革推進委員会による評価（令和5年8月28日開催予定）

## (5) 評価結果（「評価項目・評価基準」は裏面参照）

課 名	事 業 名	必要性 ①	必要性 ②	有効性	効率性	公平性	総合評価結果	今後の 事業展開
秘書広報課	ふるさとの詩募集事業	2	3	2	1	1	一部改善の 余地がある	現状
地域振興課	あい・あいバス運行事業	2	2	2	2	2	一部改善の 余地がある	現状
人権推進課	人権相談	1	1	1	1	1	適正である	現状
財政課	自主財源の確保（財政課所管分）	2	1	2	2	1	一部改善の 余地がある	拡大
社会福祉課	就労支援事業	1	1	1	1	1	適正である	現状
健康づくり 推進課	かかりつけ医（医科・歯科） 及びかかりつけ薬局の普及 啓発事業	1	2	3	3	2	見直しが 必要	現状
環境課	ごみ減量推進事業	1	1	1	2	2	一部改善の 余地がある	現状
生涯学習課	「おうち図書館」推奨事業	2	1	2	1	1	一部改善の 余地がある	現状

評価項目・評価基準

評価項目		コード	評価内容
必要性	上位計画（総合振興計画等）への必要性	1	上位計画に貢献する事務事業である。
		2	上位計画に貢献するが、改善の余地がある。
		3	上位計画に貢献しない事務事業である。
	行政関与の必要性	1	法律等で行政が直接実施するよう定められている。
		2	市民や企業・NPOなどが主体的に実施する余地がある。
		3	行政が実施する必要がない。
有効性	事業目的及び施策等への有効性	1	期待される実績や成果をあげている。
		2	類似事務事業との統廃合など検討の余地がある。
		3	期待される実績や成果をあげていない。
効率性	必要な経費に対する実績及び成果	1	必要な経費等に対し、十分な実績や成果がある。
		2	経費削減の余地がある。
		3	必要な経費等に対し、実績や成果がない。
公平性	受益と負担の公平性	1	受益者負担は適正である。
		2	受益者負担は適正ではないが、制度の主旨や政策上妥当である。
		3	受益者負担は適正でない。
総合評価結果		1	適正である
		2	一部改善の余地がある
		3	見直しが必要
事業展開		1	拡大：今後、事業規模（予算規模）を拡大すべきもの ※コロナの影響で縮小していた事業で、令和5年度以降に本来の事業規模（予算規模）に戻す場合を含む
		2	現状：事業規模（予算規模）の現状を維持すべきもの ※コロナの影響で縮小していた事業で、令和5年度以降も現在の事業規模（予算規模）を維持する場合を含む
		3	縮小：今後、事業規模（予算規模）を縮小すべきもの ※コロナの影響で拡大していた事業で、令和5年度以降に本来の事業規模（予算規模）に戻す場合を含む
		4	廃止：今後、事業を廃止もしくは中断すべきもの

評価基準